

# 令和元年度 学校評価書

室戸市立羽根中学校

【学校教育目標】 確かな学力と自主性を身に付けた、心豊かでたくましい生徒の育成

評定（A：目標を十分に達成）（B：ほぼ達成）（C：やや不十分）（D：改善を要する）

	中長期学校経営目標	短期学校経営目標	評価項目	達成状況	自己評価	改善方策	関係者評価	学校関係者評価
確かな学力	○全国水準以上の確かな学力を身に付けさせる	①教科間連携による学力向上のための校内研修の実施【研究主任】	①チーム会による学力調査結果の分析と課題及び改善手当の共有 ①研究主題に沿った研究授業の実施と授業参観の実施	全体研修や教科間連携によるチーム会において、学力調査結果の分析と課題及び改善手当の共有、新学習指導要領実施に向けた研修会等を行うことができた。また、研究主題に沿った全教員による公開授業と研究授業を計画的に実施し授業改善に取り組んでいる。	A	来年度も継続して教科間連携(チーム会)による授業改善に取り組んでいく。家庭学習時間確保の取組を継続しつつ、個別に指導・支援を行っていく。	A	○学校での授業内容、学習指導はいい評価だと思いましたが、家庭学習に関しては、もう少し指導が必要だと思います。 ○先生方の分かりやすい授業の取組を評価します。 ○現代の子供の読解力の低下傾向を耳にします。自主学習の提出率100%素晴らしいと思いますので、それに加え読書活動も強化してはどうでしょうか。 ○目標達成に向け良く取り組んでいると思われます。一部の保護者が分かりやすい授業について理解していない様子が見られるが、話し合いとかはされていますか。
		②子どもに分かる授業づくりを実践する【学習部会】	②学校評価アンケートの「授業」に関する項目で肯定的評価90%以上 授業スタンダードによる授業実践	学校評価アンケートの「授業はわかりやすく楽しい」肯定的評価の割合が、7・12月ともに89%と高い数値となっている。授業づくりのための授業スタンダードを実践することができた。	A		A	
		③家庭学習の充実を図る取り組みを行う【学習部会】	③自主学習の提出率100%、毎日の家庭学習時間確保95%以上	全体としては概ね目標を達成できているが、家庭での学習が定着していない生徒や学習内容等については個別に指導・支援が必要である。	B		B	
豊かな心	○規範意識の醸成 ○自尊感情の育成	①道徳の教科化による完全実施と授業力を向上させる【道徳教育推進教師】	①道徳科の授業を計画的に実施 ①全学年が道徳の授業公開を実施 道徳意識調査で肯定的評価が年度当初の結果を上回る	道徳の教科化により採択された教科書を使用して年間指導計画に沿った教科指導を計画的に実施することが出来た。また、道徳参観日において全学年道徳の授業公開を実施した。道徳意識調査では肯定的評価がほとんどの項目で年度当初を上回る結果となった。	A	今年度の道徳の取組状況の検証と改善を行い年間指導計画を見直す。 SC(スクールカウンセラー)と連携した取組を充実させる。 委員会活動の充実と図書室の利用促進のための環境整備を引き続き行う。	A	○インターネットなどの普及で人に対する思いやりなどができない社会になってきているので道徳等の授業は大切だと思います。 ○生徒は道徳授業について、「考える機会が十分にある」「意見を発表できる環境にある」と思っている。 ○人権作文の発表者は自分の意見を見事にアピールできておりとても素晴らしい。日頃より先生方の取組の成果だと思います。またアンケートからも先生と生徒との信頼関係が密であることが伝わりました。しかし生徒の問題の多くは大人達の問題でもあります。道徳参観日や人権講演会等、多くの保護者に参加してもらいたいです ○道徳等、人間教育への取組も良くできています。人権発表等も良くできていました。
		②人権教育・特別支援教育の充実【生徒指導主事】【人権教育部会】	②生徒指導の三機能がはたらく学校・学級教科経営の実施と定期的な校内支援会の実施、SCとの連携 ②人権意識調査の結果分析と手立て	Q-Uアンケートでは、「学校生活満足度」に属する生徒が増えた。〔74.1%(5月)→80.8%(10月)〕 また、特別支援教育の充実を図るために、講師を招聘した校内研修やSCと連携した校内支援会を毎月1回実施することができた。	A		A	
		③図書室の利用促進と図書室を活用した授業や行事実施【図書委員会】	③百人一首大会、図書室利用のオリエンテーション、学級文庫等委員会活動の取組	図書委員会による読書の啓発活動は実施できたが、読書時間の改善があまり見られなかった。全校縦割り班での百人一首大会やキャッチコピーコンテストは予定通り実施できた。	B		B	
健やかな体	○運動習慣を確立し、心身ともにたくましい身体づくりを行う	①体育大会や駅伝競走大会等の体育的行事への取り組みを通して、体力の向上を図る【体育主任】	①体育大会の達成感90%以上 ①駅伝競走大会に向けた取り組みの充足感80%以上	体育大会については、今年度も生徒が練習内容や時間設定するなど主体的に取り組んでいた。また、駅伝練習の取り組みを通して持久力や忍耐力を養うことができたが、男子は生徒数減や故障者のため大会に参加することができなかった。	B	生徒が行事等の意義を理解し、目標を持って主体的に取り組めるよう生徒会を中心に据えた意図的・計画的な取組を継続する。	B	○体育大会では3年生を中心として、生徒も教員も頑張っていたと思います。 ○男子の駅伝に関しては、出場することに意義があるので結果はともかく出場させてあげたかったと思います。 ○体育大会では、少人数ながら個々が役割をしっかりとこなしていた。達成状況を尊重します。 ○体育大会では、すごく意欲的に取り組んでいる姿があり見ている方までパワーを貰いました。生徒数が少ないことが全く気になりませんでした。 ○体育大会等も少人数で良くできていました。駅伝は男子が少し残念でしたが、女子はよく頑張りました。
		②行事や集会でレクレーションを行い、運動の楽しさを実感させる【生徒会】	②新入生歓迎会やお別れ行事における体育レクの満足度90%以上	集会でのレクは、体育交通委員会が企画・立案し縦割り班で実施。新入生歓迎行事では3年生がリーダーシップをとり、お別れ行事では新執行部が運営の主体となるなど生徒主体の活動ができ、楽しむことができていた。生徒の満足度も高い。	A		A	
安全・健康	○健康の保持・増進を図るとともに、災害や危険から自らの命を守るための判断力や行動力を育成する	①危機管理マニュアルの見直しと安全に対する意識を高める【防災教育担当】	①危機管理マニュアルの見直し ①避難訓練の実施と救命救急法の実施(地域・小学校との連携) ①校区の避難経路や危険個所の実地確認	1・2学期に危機管理マニュアルの見直しと南海トラフ地震を想定した避難訓練を実施した。また、室戸消防の協力を得て、7月に全校生徒と全教職員を対象とした救命救急法の実技講習、3学期にはグランド東側に新たに設置された避難道の確認や、火災による避難訓練を行うことができた。	A	関係機関と連携し避難訓練や防災教育の徹底を図るとともに日常的な安全点検を行う。 生活習慣調査や外部人材を活用した食に関する学習を継続して実施していく。	A	○防災に子供達に取り組んでいることは素晴らしいことだと思います。 ○健康の大切さを食から勉強していることは良いことだと思います。 ○避難道の整備がなされたことにより、地域住民の避難が多くなると思われる。そのときの対処の方法など、考えておく必要があるのではないのでしょうか。 ○生徒の命を守る避難訓練は大切です。それに加え羽根中学校は一番の避難場所でもあり、生徒がいる時間帯での地域ぐるみの避難訓練を実施して欲しいと思います。 ○南海トラフ地震に向けて地域や小学校との連携をもっと深めていく必要があると思います。
		②生活習慣調査と日々の指導食に関する実技学習の機会を複数回確保し、健康の大切さについての意識と実践力を高める【生活健康部会】	②生活習慣調査を実施し、生活習慣の大切さ理解し生活改善に生かす ②外部人材を活用した食に関する学習と実技の実施	生活点検週間(ヘルシーライフやノーメディアウィーク)を設け、その振り返りを行う等の指導や家庭への啓発を行うことが出来た。食に関する学習については、家庭科における学習の他に、弁当の日・朝食づくり・郷土料理づくりなど外部人材を活用した学習と実習を計画通り実施することができた。	A		A	
部活動	○部活動を通して、心身ともに健康で活力のある生徒を育成する	①日々の活動や努力の結果が記録や達成感として生徒に味わわせられるような部活動指導を行う【部活動顧問】	①学校評価アンケートの部活動に関する項目で肯定的評価85%以上	生徒数減に伴う部活動再編の検討が必要であるが、各部活動ともに目標をもって競技力の向上とチーム作りに日々励んでいる。学校評価アンケート「部活動に積極的に参加している」の項目では肯定的評価が100%と高い結果となっている。	A	部員数減と多様な生徒への対応に向けた部活動再編。 日々の情報交換や職員会等で現状や課題を共有し課題解決に向けた取組を行っていく。	A	○生徒数も少ないなかで時間も決められ、部活動はやりづらいと思いますが、どうでしょうか？ガイドラインは本当に必要でしょうか？ ○生徒数が減り部活動の編成も難しい中、生徒は部活動を頑張っている様子がうかがえる。 ○生徒数減により部活動運営が難しい中、毎回あらゆる大会後、いつも壁に写真や結果を掲示し、他の部活動の頑張りの情報共有ができており、素晴らしいと思います。 ○少ない人数で部活動も良くできています。
		②定期的に情報交換を行い活動方針に沿った部活動指導を行う【部活動顧問】	②日常の情報交換と定期的に職員会で各部の現状や課題を共有と課題解決に向けた取組の実施(休養日と適切な練習時間の設定)	各部の活動状況や生徒の様子は職員会で毎回全教職員が情報共有している。また、週2日の休養日や適切な練習時間の設定など室戸市運動部活動ガイドラインに沿った活動が出来ている。	A		A	
保護者地域との連携	○保護者や地域住民の理解と協力を得た学校運営を行う。	①地域学校協働本部事業の推進【管理職】	①地域学校協働本部事業の計画と実施 ①コーディネーターや小学校との連携を図る	羽根地域学校協働本部協議会を7月に開催し1年間の事業計画を作成、地域コーディネーターの協力のもと予定通り地域学校協働活動が実施できている。	A	羽根地域学校協働本部との連携や通信の発行、公開授業、地域行事への参加等、継続して取り組む。 参観日については、保護者の参加が増えるように開催日時や内容等の再検討を更に行っていく。	A	○地域の活動に積極的に参加していると思います。保護者の参加率がもう少し高くなったらと思います。 ○人権学習、講演など保護者ももう少し関心を持ち積極的に参加してほしいものです。 ○羽根海岸一斉清掃や市民館主催の事業等についても積極的に協力していただき感謝しています。今後も連携を強化し羽根の子供を見守り、育てていきたいと思っています。 ○各行事等良く取り組んでいると思いますが、やはり参観日の参加が少ないのは少し残念です。
		②学校の情報等伝える機会を充実させ、開かれた学校づくりをすすめる【管理職】	②学校だより、学級だより等の通信を毎月発行、HPの更新 ②参観日の保護者参加率50%以上(開催日や内容の工夫)	HP(ホームページ)、お便り、PTA役員会、PTA総会等で情報発信することができた。日曜参観日に道徳の授業公開や進路説明会を行うことで保護者の参加率が高くなった。	A		A	
		③PTA活動や地域の行事に参加し、保護者や地域との意思疎通を図る【管理職】	③羽根海岸一斉清掃、十兵衛相撲には全校体制で参加する ③公民館・市民館行事との連携	羽根海岸一斉清掃、十兵衛相撲大会、ふれあい祭り、市民館主催の人権講話等、地域の行事に参加協力することができた。また、PTA活動にも積極的に参加できた。	A		A	